さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

問1
歳森さんは、日常から離れた時間を楽しむキャンプ場にするため、どんな工夫をしていますか。

……

……

……

問2
甘利山グリーンロッジのキャンプ場は、なぜ「雲の上のキャンプ場」なのですか。

……

……

……

問3
次の漢字は何と読みますか。

・就職「　　」　・募集要項「　　」

・魅力「　　」　・炊 事 場「　　」

問4
キャンプのスタイルも徐々に広がっています。最近人気のある「グランピング」や「ソロキャンプ」とはどういうキャンプか調べ、それぞれ特徴を書いてください。

・グランピング →

・ソロキャンプ →

ニューフェース

韮崎市地域おこし協力隊員　歳森宗一郎さん

「雲の上のキャンプ場」整備

東京都港区で生まれ、大学時代まで都内で過ごしました。卒業後は食品メーカーに就職し、大阪府や愛知県などで冷凍食品の営業を担当していました。

7年ほど前からキャンプをするようになり、多い時は年に30日以上をキャンプ場で過ごしたこともあります。静かな時間を過ごしながら、たき火やお酒を楽しめるのが魅力で、北杜市や富士吉田市など県内のキャンプ場も利用していました。

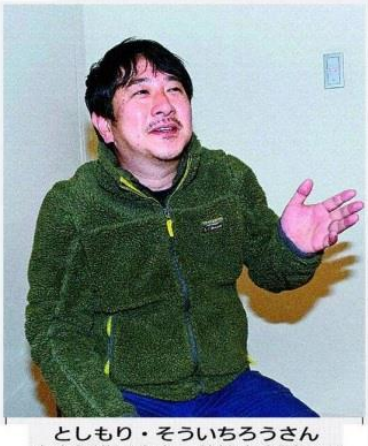
韮崎市の地域おこし協力隊の募集要項に甘利山周辺へのキャンプ場整備が含まれていることを知り、応募しました。昨年8月から、宿泊施設「甘利山グリーンロッジ」の管理人を務めながら、重機で整地したり、草刈りをしたりしてキャンプ場の整備を進めています。今後は炊事場なども整備して、今年中のオープンを目指します。

キャンプ場は「日常から離れた時間を楽しむこと」が醍醐味だと思います。そのため、宿泊するテントから駐車している車ができる限り見えないよう工夫しています。韮崎市内では数が少ないバーベキュー場も用意しました。

このキャンプ場の最大の魅力はロケーションです。天候次第で周囲から雲海を見ることができ、まさに「雲の上のキャンプ場」です。時期によっては甘利山に咲き誇るレンゲツツジや紅葉を楽しむこともできます。

一方で、レンゲツツジは虫害などで本数が減り続けています。キャンプ場のオープンで、地域活性化とともにレンゲツツジを守るための取り組みに賛同してくれる人も増えればいいと思っています。

〈聞き手・山本就己〉



としもり・そういちろうさん
東京都港区出身。韮崎市竜岡町下条東割。46歳。

（2022 年 3 月 1 日付 山梨日日新聞 22 面）

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2022 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.